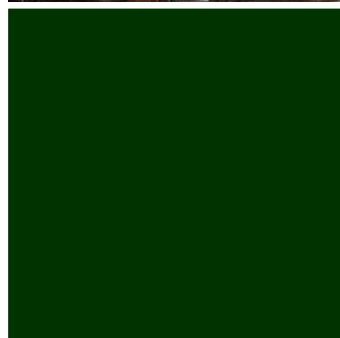
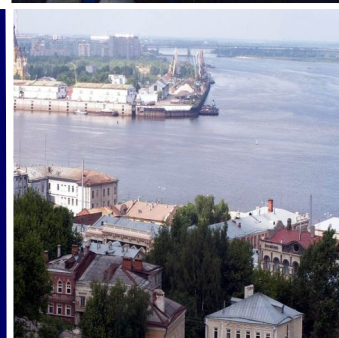
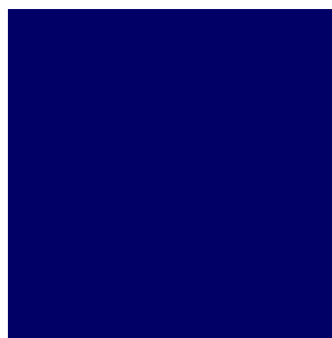
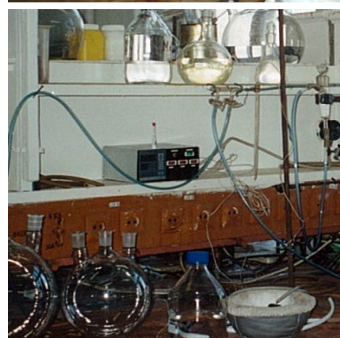
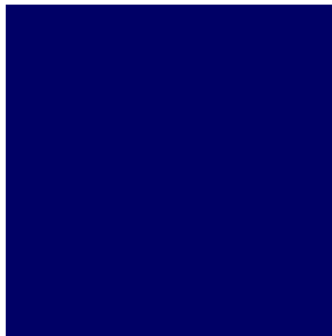
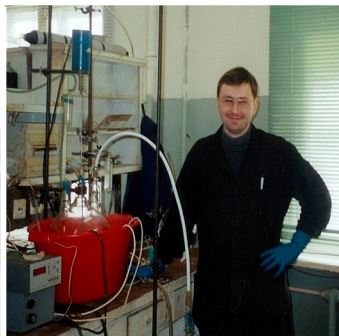
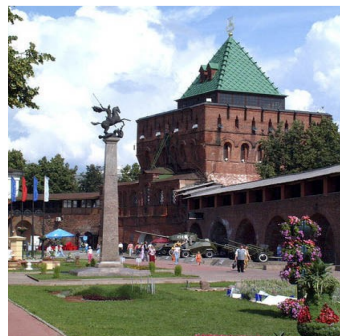


SYNOR LTD.

(ロシア連邦)



～ 有機金属化合物のスペシャリスト ～



東洋サイエンス株式会社

～有機金属化合物のスペシャリスト～



SYNOR LTD.

- ロシア連邦 -



会社概要:

1991年、ロシア第3の都市で工業都市でもあるNizhniy Novgorodに設立された有機金属の専門メーカー。有機金属の研究、開発、生産に特化し、100以上の合成技術で300品目以上の有機金属化合物の生産を行っています。

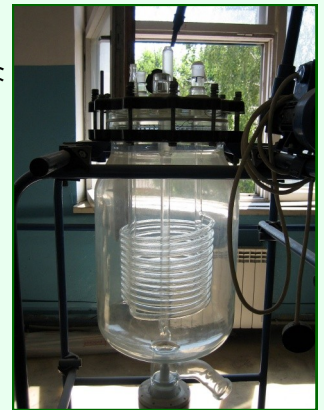
SYNORの創設者はロシアの有機金属化学の基礎を作り上げたDr.Grigory A.Razuvaevです。彼の功績により、現在では、Nizhniy Novgorodはロシアで唯一の有機金属化合物を専門とする大学、Institute、アカデミーが設立され、毎年有機金属化合物のスペシャリストを輩出しています。

SYNORで働く約50人の従業員のうち20人はアカデミーかINSTITUTEで有機金属化合物を専門に研究してきた化学者であり、アカデミー、INSTITUTEとの強い結びつきを活用して共同研究、合成特許の出願など最近の活躍は多岐に亘り、目覚ましいものがあります。

現在SYNORは有機金属化合物の研究、開発、生産に特化し、100以上の合成技術で300品目以上の有機金属化合物の生産を行っています。

特色:

- 有機金属化合物に特化した研究・開発、製造及び秘密保持契約下での受託生産。様々な有機金属化合物に対応が可能。
- 空気、光、水分に敏感な化合物、自然発火性化合物の取り扱いを得意としている。
- 安全面と利便性を考え、必要数量のアンフル小分け対応が可能。
- 遮光性アンフルやアルゴンガス・窒素ガスを充填して出荷。
- 有機金属化合物の輸出ライセンスを所有しており、様々な化合物の輸出が可能。



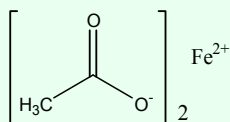
～SYNOR得意分野～

- ・Ge, Sn, Pb, P, W, Mo, Siを含む有機金属化合物
- ・他 Ba, Bi, Ce, Cr, Cu, Er, Fe, Hf, Mg, Mn, Nd, Ni, Pr, Sb, Ti, V, Y, Znなど、様々な元素に対応可能

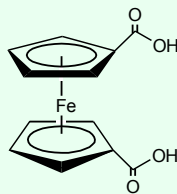
～設備～

- ・フラスコ反応器(2～50 L):G単位から対応可能
- ・ステンレス・スチール/ガラス反応器(20～100L):年間約1,000kgまで対応可能
- ・精留カラム

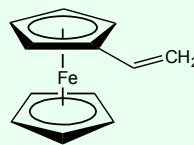
SYNOR製品一例



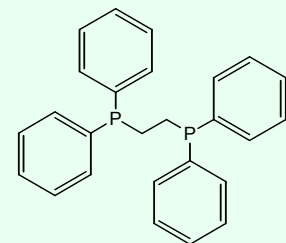
Iron(II) acetate
CAS NO.3094-87-9



1,1-Ferrocenedicarboxylic acid
CAS NO.1293-87-4



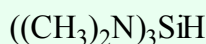
Vinylferrocene
CAS NO.1271-51-8



1,2-Bis(diphenylphosphino)ethane
CAS NO.1663-45-2



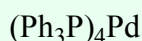
Tungsten hexacarbonyl
CAS NO.14040-11-0



Tris(dimethylamino)silane
CAS NO.15112-89-7



CASNo. 14221-01-3
Germanium ethoxide



CASNo.14165-55-0
Tetrakis(triphenylphosphine)
palladium(0)



東洋サイエンス株式会社

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルヂング 4階

担当者: 営業第2部 三浦 幹巨

Tel: 03-5205-1040 Fax: 03-5205-1043

Mail: fc2@toyo-asia.co.jp URL: <http://www.toyo-asia.co.jp>